

(案)

深交会発第 号
令和6年 月 日深谷観光バス株式会社
代表取締役 高田 勇三 様深谷市地域公共交通会議
会長 深谷市副市長 長 原 一

【一般乗合旅客自動車運送事業】定時定路線バス『深谷北・籠原北線』の
新規運行について（通知）

標記の件について、以下のとおり意見いたします。

■意見

新規運行を予定されている『深谷北・籠原北線』について、深谷市の公共交通ネットワークへの支障は無いと認める。理由については下記のとおり。

記

○コミュニティバス「くるリン」をはじめ、市内を運行する他の路線バスの運行への支障がないため

【連絡先】

深谷市地域公共交通会議
事務局（深谷市 都市整備部 都市計画課）
担 当 荒谷・飯野・真下
TEL：048（574）6654（直通）
FAX：048（571）1092
Mail：toshi@city.fukaya.saitama.jp

【一般乗合旅客自動車運送事業】

深谷北・籠原北線(定時定路線バス)

運行計画(案)



お客様と共に
「楽しみ・よろこぶ」

令和6年8月

深谷観光バス株式会社

深谷市西大沼 356 番地

TEL(048)571-1881

担当:代表取締役 高田勇三

内容

企業概要	3
0-1 企業情報.....	3
0-2 沿革.....	3
0-3 既存事業.....	3
0-4 強み・特長.....	3
1章 計画の総論（共創事業）	4
1-1 運行開始時期.....	4
1-2 運行目的.....	4
1-3 ローカルモデルの構築（共創事業）.....	4
第2章 公共交通の現状と課題	5
2-1 深谷北・籠原北線 の運行課題	5
第3章 深谷北・籠原北線の運行計画	8
3-1 運行に当たっての基本的な考え方	8
3-2 運行内容 ルート.....	9
3-3 系統距離図	10
3-4 時刻表（平日）	11
3-5 時刻表（祝休日）	12
3-6 運行車両.....	13
3-7 運行体制.....	13
第4章 深谷北・籠原北線の運行収支	14
4-1 運賃体系.....	14
4-2 深谷北・籠原北線 運賃割引制度.....	16

企業概要

0-1 企業情報

企業名：深谷観光バス株式会社

所在地：埼玉県深谷市西大沼356

業種：道路旅客運送業（日本産業標準分類・中分類43）

0-2 沿革

昭和37（1962）年、深谷市（旧深谷町）の町会議員や地元の有志によって株式会社として資本を募り設立。公共交通機関の乏しい地元において、地域住民の利便を図る公共的責任を担いながら運営を行い、現在に至っている。

□創業当時の写真



0-3 既存事業

当社の事業は「貸切バス（観光バス）事業」「特定バス事業」「路線バス事業」に大別される。

貸切バス（観光バス）事業では、地元の深谷市を中心に、埼玉県や群馬県の企業や旅行代理店から、観光バスの受注をいただいている。また、特定バス事業では、周辺地域の企業や学校を対象とした送迎を行っている。さらに深谷市・熊谷市間の民間バス事業者撤退に伴い、2020年に受託運行していた**東都大学送迎バス事業のスキームを変更して、両市を跨る路線バス[共創事業]を開始**。その後も地元深谷市における地域公共交通課題解決に向けて継続的支援に取り組んでいる。



0-4 強み・特長

<地元におけるネットワーク>

1962年に創業し、地元・深谷市で暮らす人々や企業などとともに、62年の歴史を歩んできた。この間、顧客である住民や企業とは、単なるバスサービスの売り手と買い手といった関係を超え、人と人との信頼を築いてきた。また、当社の社員の殆どが深谷市出身であり、中には親子そろって当社で働く者もいる。過疎化・高齢化が進む当地ではあるが、これまでに築いた顧客とのネットワークは強固であり、当社最大の強みとなっている。

1章 計画の総論（共創事業）

1-1 運行開始時期

本計画に基づく路線バス（一般旅客自動車運送事業）の運行開始は令和6年12月1日からの運行を指します。

1-2 運行目的

J R 深谷駅北口から幡羅地区を経由し J R 籠原駅北口は令和2年3月31日まで民間路線バスが運行しておりました。

この行政境を運行していたバスは籠原駅とまりの多い J R 線を補助し、流出人口が多い深谷市の移動の一助となっており、人口密度が比較的高い幡羅地区の“自力移動”が困難な地域住民においては非常に重要な交通手段でした。

これまで利用してきた方たちを含む多くの方から現在は移動手段の確保に苦慮しているとの声を聴いておりましたが行政区を跨ぐため自治体運営のコミュニティバス運行が困難な状況も把握しておりました。

そして、現在はインフレ（燃料高騰）、人材不足も路線廃止時よりも一層、経営面で苦しさを増す中、このエリアのインフラ交通を再考するのは困難なものでしたが国土交通省（共創モデル実証運行補助金）が排出され地域公共交通に配慮した事業モデルが考案できるようになり、深谷観光バス株式会社では同補助金を利用可能と思われる共創事業者（深谷市・深谷大里看護専門学校）の理解を得、スクールバス機能も補完したうえで深谷駅～籠原駅区間の路線バス類似線を復活させ、移動困難者の割合が多くなる高齢者に配慮し、深谷日赤までの動線を加えて路線復活を目指します。

1-3 ローカルモデルの構築（共創事業）

人口規模が30万人を超えないと自主運営の交通インフラは基本、成り立たない傾向にある。

まして深谷市は14万人、加えて流出人口が流入人口を上回るこのエリアではなおさら自主運営は成り立ちにくい。但し、大規模ではないにせよ市内にはランドマークとしてなりえる企業、学校等が少なからずあり、その多くは独自の交通機関（専用送迎バス）を保持しているのが現状である。その送迎バスは通勤数学時間帯以外、ほぼ利用されておらず日中の地域住民の移動手段としてなりえる。

深谷市のような広域エリアに点在する少数派の移動困難者に移動サービスを提供するには、より合理化を図らねばならず地域企業、学校等と地域住民の相互理解を同時に深め、協力し合い交通手段（バス）を融通しあうことが今後、推進され訪れるSDGsの時代へ沿うものと考えます。

そして、企業や公共交通も共にコストに苦しんでおりデメリットを相互理解により解消できればストレスなく協調できるはずである。

第2章 公共交通の現状と課題

2-1 深谷北・籠原北線 の運行課題

令和2年3月31日まで深谷駅北口と籠原駅北口を結ぶ民間路線バスが運行していました。

しかし、ここ数年のバス利用状況から、今後のバス運行継続が困難なこともあり、廃線となったようです。

深谷市域の公共交通網形成と、深谷市と熊谷市の行政区域境に居住する住民の移動手段を確保するため、弊社では次のとおり持続可能な運行に向けた課題を整理いたしました。

検討すべき課題は、次の5点です。

課題1	共創事業としての位置づけ
課題2	深谷市・熊谷市の行政境居住者の移動手段の充実
課題3	事業の採算性の向上による事業費の削減
課題4	交通弱者の増加への対応
課題5	運行方式・運行サービス水準の検討

課題1 | 共創事業としての事業

国も地方ローカル路線の運営・継続の困難さを打開するため様々な政策を用意しています。

その中で「共創モデル実証運行補助事業」があり様々な共創モデルや考案が可能な補助事業となっていて、今回は「深谷大里看護専門学校」と輸送で共創し、運営等の効率を高めることは可能ですが地域要望が強くと一度廃路線となったこともあり運営リスクは依然付きまといます。

そこで設備投資や事業費に補助金取得できる「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（共創・MaaS実証プロジェクト）」に応募し、令和6年度の採択を頂きました。

本計画は事業開始5年間の事業運営の目安を付けるためのものであり以降の事業に関しては5年間で課題を洗い出し、対策を実行し継続を目指すものであります。

※プラットフォームイメージ

※補助金は最高2/3補助金ですが採択額については一事業者の立場として公表を控させていただきます。



課題 2 | 深谷市、熊谷市の行政境居住者の移動手段の充実

現在の深谷市コミュニティバス「くるりん」定時定路線、熊谷市コミュニティバス「ゆうゆうバス」においては、それぞれ駅を中心にネットワークが形成されています。

深谷市と熊谷市の行政境を跨ぎ互いの交通インフラの中心である駅に接続しているバス路線は現在がありません。沿道の住民や企業からは定期的に運行して欲しいとして深谷市公共交通の交通結節点である「**深谷日赤病院**」更には、地域の住民団体などから要望がありました。

「**深谷大里看護専門学校**」においては学生の通学に利用したい。「**深谷日赤病院**」においては患者の通院などに利用したい。このようにそれぞれの移動ニーズに合わせた要望を確認しています。

課題 3 | 事業の採算性の向上による事業費の削減

一般に路線バスを取り巻く経営状況は厳しく、地域住民の安定した移動手段として、将来に渡った持続性が最重要課題であることに視点を置いた運賃体系を考案します。

また、運行経費の効率化等を検討し、利用者の利便性を踏まえつつ、受益者負担の適切性及び深谷市と熊谷市のコミュニティバスの運賃ともバランスよく設定するという観点から、弊社路線バスにおきましても適正、かつ持続可能な運賃体系の導入を検討します。

課題 4 | 交通弱者の増加への対応

既に、日本の人口は2000年をピークに減少しています。

先の深谷市地域公共交通計画の中でも年々深谷市でも高齢化率は上がっており今後も更に増加が予想されます。合わせて加齢による運転困難者の増加への対応が必要となります。

また、高齢者の運転が原因による交通事故発生件数も高齢者人口が増すごとに増加しており、運転に不安のある高齢者が自動車運転免許証を自主返納しても、居住区域で安心して移動できる交通環境づくりが必要であると感じています。

課題 5 | 運行方式・運行サービス水準の検討

地域住民の利用者皆様がバスとして認知し易い、いわゆる路線バス方式による運行とします。また、一定のサービス水準を維持・継続するため、沿道企業並びに沿道住民皆様の移動ニーズに合わせた運行システムを構築します。

弊社が行う路線バスは、運行の効率性、採算性などを十二分に考慮し、運行方式や運行サービス、更には効率性を高める運行計画を目標に考案しました。

(1) 運行時間及び運行系統

深谷北・籠原北線 の運行ルートは、沿道企業の移動ニーズに合わせ、方面の違いも含め路線を1路線9系統に分割し運行を計画。

沿道企業等のニーズを勘案した運行時間及び運行系統を次のとおり時系列で説明します。

【1・2 朝から始まる移動ニーズ】

この路線の大量移動ニーズは「深谷大里看護専門学校の学生通学」です。共済事業との位置づけから安定運行を行うための不可欠な運行となります。また復路を新戒方面の通勤等のニーズに利用することが可能になります。

【3・4 通勤・通学の移動ニーズ】

深谷大里看護専門学校は深谷日赤病院への研修にも需要があり。その他、籠原方面からの通学（深谷商業高等学校・深谷第一高等学校）に合わせ、『深谷大里看護専門学校・深谷駅北口・深谷日赤』の運行を計画。

【5・6 生活移動のニーズ】

通学、通勤者の利用が落ち着く時間（午前9時半過ぎ）になりますと、深谷日赤病院が外来診察の受付開始時刻となります。このため、沿道住民の通院ニーズに合わせ深谷大里看護専門学校を減便し『深谷駅北口・籠原北口』を起点・終点とし経由地として高齢者需要の多い深谷日赤を経由地として企画しました。（運行の合理化を図るため複数便『深谷駅・深谷日赤』で折り返す便も計画）

【7 通勤・通学後の移動ニーズ】

深谷赤十字病院の利用時間外には籠原駅北口と深谷駅北口を時間節約、本数増加をするため直線的な移動を優先し、通勤等の利便の増進を図ります。

【8 特別需要】

深谷大里看護専門学校の深谷日赤研修に時間的制約がある輸送需要発生に対応。

以上の1路線8系統【】番号の系統により運行を計画。

(2) 路線の重複

既存の民間路線バスとの共生を行います。

またコミュニティーバスとは再編計画等の都度、綿密に相談・協調し互いの地域公共交通として利便の増進と互いを補完しあうことによって価値を高め合うよう協力します。

そして今後の利用者ニーズの変化により、やむを得ず路線等の変更が必要とされた場合は、他民間路線バスと共生が可能になるよう注意を払います。

第3章 深谷北・籠原北線の運行計画

3-1 運行に当たっての基本的な考え方

沿道住民の移動ニーズに基づき、運行に当たっての基本的な考え方を設定します。

(1) 運行ルート

- ① 通学・通勤にも対応した運行とするため、同一路線で複数系統を設定し運行します。
- ② 深谷日赤病院及び熊谷市の JR 高崎線籠原駅と、深谷市の幡羅地区の住宅街を結び、速達性の高い運行ルートにします。
- ③ 沿道住民が深谷日赤病院への需要に対応できるようにします。
- ④ 公共交通不便地域の解消を図るように運行します。

(2) 運行時間帯・運行便数

- ① 沿道企業等関係者の移動ニーズに合わせ運行することで、定量的な利用客を確保し、持続可能性を高めるため、需要に合わせた運行時間帯を設定します。
- ② 複数の運行系統を設定し、利用者需要に合わせた運行とします。
- ③ 可能な限り、運行便数を確保します。

(3) 運行ダイヤ

「深谷大里看護専門学校」をはじめ、交通結節点である「深谷日赤病院」の需要を考慮しつつ、深谷市と熊谷市のコミュニティバスにも配慮したダイヤを編成します。

(4) 輸送力

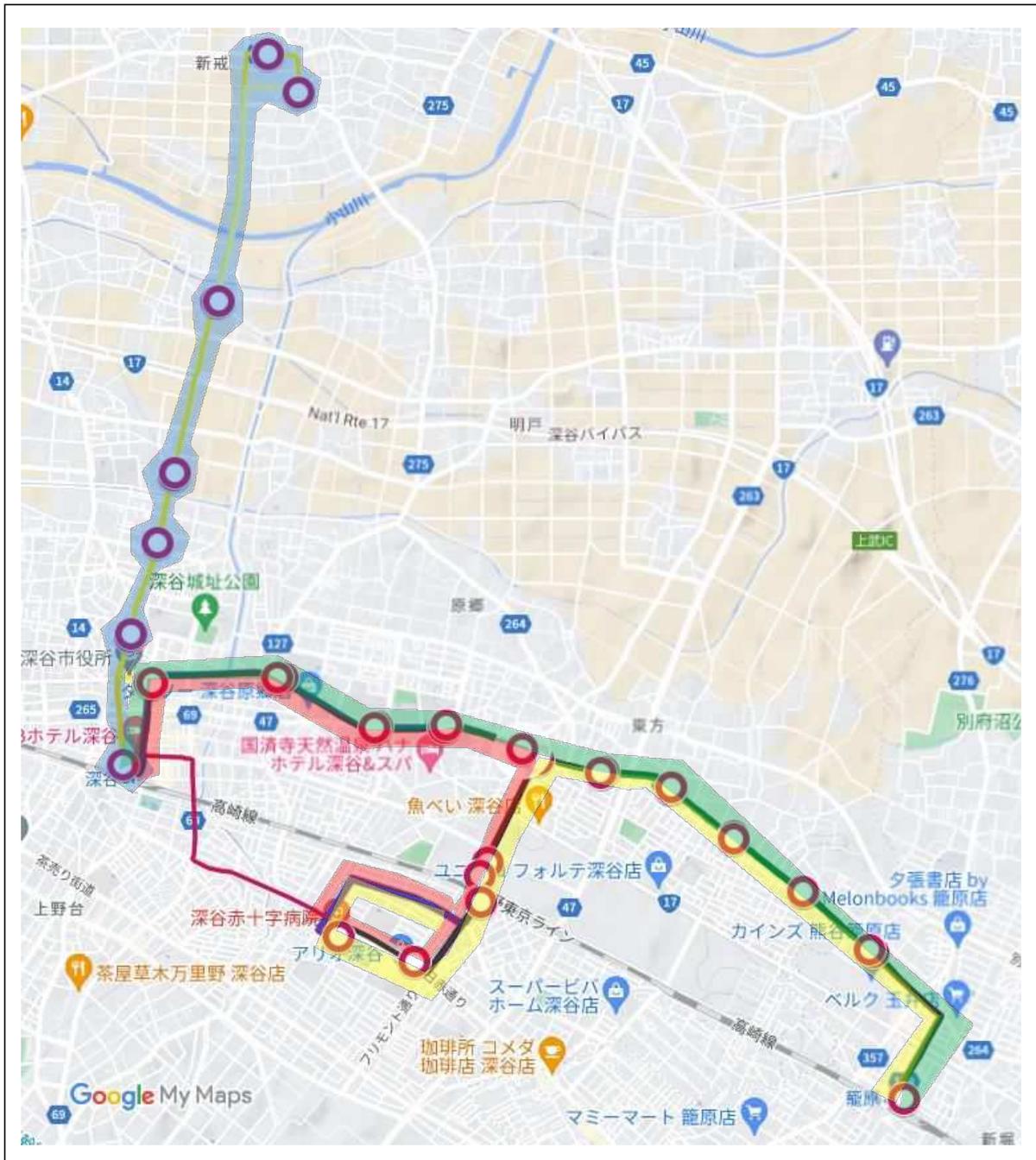
「深谷大里看護専門学校」の学生輸送、「深谷日赤病院」の利用者など、学生利用と地域住民の同時刻で輸送を可能にするため中型路線バス（着座 24+立席 34=58 名）準備を行います。

また、長期に渡っての沿道住民の安定的な移動手段とするため、周辺の土地利用の変化に注視しながら輸送力の確保に努めます。

(5) 運賃

同一ネットワークとなる、深谷市コミュニティバス「くるりん」と熊谷市コミュニティバス「ゆうゆうバス」の運賃とのバランスを考慮しながら、利用者の適切な受益者負担を踏まえ、運賃体系を定めます。

3-2 運行内容 ルート



凡例

- ……スクールバスを主にした動線凡例
- ……深谷駅北口から深谷赤十字病院を結ぶ動線
- ……籠原駅北口から深谷赤十字病院を結ぶ動線
- ……深谷駅北口から籠原駅北口を結ぶ動線
- ……特急便（研修用スクールバスを主とした動線）
- ……停留所

3-3 系統距離図

深谷北・籠原北線 運行系統（同色＝往路復路）

運行系統 No.	運行種類	系統	距離 (km)	運行本数	合計 (km)
①	1	大里看護専門学校 - 深谷駅北口	4.79	5	23.95
②	2	深谷駅北口 - 大里看護専門学校	3.78	4	15.12
③	3	深谷駅北口 - 深谷日赤	5.02	4	20.08
④	4	深谷日赤 - 深谷駅北口	5.19	3	15.57
⑤	5	深谷日赤 - 籠原駅北口	5.54	4	22.16
⑥	6	籠原駅北口 - 深谷日赤	5.61	2	11.22
⑦	7	深谷駅 - 籠原駅北口	6.66	3	19.98
	8	籠原駅北口 - 深谷駅	6.66	5	33.30
⑧	9	< 急行 > 深谷駅北口 - 深谷日赤	2.10	1	2.10
回送			2.00	2	4.00
合計				33	167.48

3-5 時刻表 (祝休日)

■系統図		運行本数	運行間隔
1	深谷大里看護専門学校→深谷駅北口	2	15~20分
2	深谷駅北口→深谷大里看護専門学校	2	15~20分
3	深谷駅北口→深谷日赤	2	20分
4	深谷日赤→深谷駅北口	2	20分
5	深谷日赤→龍原駅北口	2	20分
6	龍原駅北口→深谷日赤	2	20分
7	深谷駅北口→龍原駅北口	6	20分
8	深谷駅北口→深谷日赤<急行>	6	20分
		0	10分

■時刻表

系統	時刻	8:00	8:10	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30
龍原駅北口	8:00																									
新堀・東方	8:13																									
南郷	8:15																									
東方鈴木屋	8:16																									
東方新井屋	8:17																									
JA幡羅	8:19																									
国済寺町																										
サンケイ化学・LIXIL前																										
メディカルセンター前																										
ARIO深谷																										
深谷日赤																										
ARIO深谷																										
メディカルセンター前																										
サンケイ化学・LIXIL前																										
国済寺町																										
並木																										
ヤオコー国済寺町店前																										
深谷第一高校前																										
深谷商業高校前																										
深谷市役所南																										
深谷駅北口	9:52	9:52	10:05	10:50	11:00	11:55	12:05	14:10	14:20	16:00	16:10	18:10	18:20	19:15	19:25											
深谷郵便局前	9:52	9:52	10:08	10:47	11:03	11:52	12:08	14:07	14:23	15:57	16:13	18:07	18:23	19:12	19:28											
フレッセイ前	9:52	9:52	10:10	10:45	11:05	11:50	12:10	14:05	14:25	15:55	16:15	18:05	18:25	19:10	19:30											
ビレッジハウス前	9:52	9:52	10:01	10:44	11:06	11:49	12:11	14:04	14:26	15:54	16:16	18:04	18:26	19:09	19:31											
シンヨシ前	9:52	9:52	10:02	10:43	11:07	11:48	12:12	14:03	14:27	15:53	16:17	18:03	18:27	19:08	19:32											
モリタネグリーン前	9:52	9:52	10:04	10:41	11:09	11:46	12:13	14:01	14:28	15:51	16:19	18:01	18:29	19:06	19:34											
深谷大里看護専門学校																										
深谷駅北口	8:30	8:30	10:15	10:30	11:20	11:35	12:49	13:30	15:04	15:20	16:30	17:00	17:35	17:50	18:40	18:55	19:45									
深谷郵便局前	8:45	8:45	10:30	10:45	11:35	12:50	13:35	14:20	15:55	16:10	17:20	17:55	18:30	19:15	19:45											
フレッセイ前	8:50	8:50	10:45	11:00	11:50	13:05	13:50	14:35	16:10	16:25	17:35	18:10	18:45	19:30	19:55											
ビレッジハウス前	8:51	8:51	10:50	11:10	12:00	13:15	14:00	14:50	16:25	16:40	17:50	18:25	19:10	19:40	20:10											
シンヨシ前	8:53	8:53	11:00	11:20	12:10	13:25	14:10	15:00	16:35	16:50	18:00	18:35	19:20	19:50	20:20											
モリタネグリーン前	8:56	8:56	11:10	11:30	12:20	13:35	14:20	15:10	16:45	17:00	18:10	18:45	19:30	20:00	20:30											
深谷大里看護専門学校	9:00	9:00	11:20	11:40	12:30	13:45	14:30	15:20	16:55	17:10	18:20	18:55	19:30	20:00	20:30											

3-6 運行車両

運行車両は、利用者想定人数及び運行ルートの特徴等を踏まえて計画しています。

学生の一定需要がある時間帯では一定量を確保するため、**中型車両（乗車定員約58人）**とします。また、運行ルートの道路条件（幅員）や需要（ピーク時の乗客数）も踏まえ、中型車両が適切であると判断しています。なお、高齢者などの利用に配慮し、ノンステップバスを導入します。※車椅子対応可能

高齢者皆様の要望として車内にコースマップの掲載や、使用し易い運賃箱の設置等を行います。

車両数は、運行便数や運行1回当たりの所要時間等を考慮しますと、**1台（その他保有済みの予備車大型1台：計2台）**を用意し運行に充てます。

■ 準備する運行車両

車種	いすゞ自動車・エルガミオ（前後2ドア）
乗車定員	58人（座席23人＋立席34人＋乗務員1人） ノンステップエリア座席数6人 ※車イス1台乗車可能
車両寸法	幅2,300mm×長さ8990mm×高さ3,040mm
車両本体価格	約2,613万円（新車購入価格※税込）

■ 予備車両

車種	日野自動車・レインボー（前後2ドア）
乗車定員	58人（座席23人＋立席34人＋乗務員1人） ノンステップエリア座席数6人 ※車イス1台乗車可能
車両寸法	幅2,300mm×長さ8,990mm×高さ3,040mm
車両本体価格	約2,058万円（中古購入価格※税込）

3-7 運行体制

（1）事業主体・運行事業者

運行は、弊社にて全て自社運行いたします。

運行に当たっては、利用者の安全性を最優先に保障し、安定的な運行をできるようにすべく道路運送法第4条に基づいた「一般乗合旅客自動車運送事業」として実施します。

第4章 深谷北・籠原北線の運行収支

4-1 運賃体系

運賃については、運行経路沿道自治体における運賃設定などを参考にしつつ設定します。

(1) 運行区域内のコミュニティバス運賃体系

深谷市コミュニティバス「くるりん」の運賃体系

2.0 km未満の乗車の場合は、1回当たりの運賃は100円とし、2.0 km以上の乗車の場合は、1回当たり200円・1カ月定期4,000円・3カ月定期11,400円・回数券1,000円（100円相当11枚）

熊谷市ゆうゆうバスの運賃体系

熊谷市ゆうゆうバスは、1回200円、1日乗車券500円としております。

回数券 10回 2,000円 ・ スマホバス回数券 1,500円

(2) 運賃の設定

本路線バスにおける運賃設定は、**1回乗車200円（区間均一）**とします。

利用可能キャッシュレス【交通系ICカード・各種クレジットカード・QR決済（ペイペイ）等

(3) 収入（運賃収入）の試算

本路線バスにおける運賃収入は、以下のとおり試算します。

以前運行していた「くるりん」東循環の平成29年7月の一週間利用者数実績より今回企画したエリアからの乗車人数を抜粋し、1便当たりの試算をした結果、1日平均約66.4名が見込めるものとし、運行初年度（令和7年度）は一般利用が71人、深谷大里看護専門学校が50名×1往復100人、計165人/日の利用と試算します（ただし、深谷大里看護専門学校学生利用は別契約のため、収入を月額固定として年間収入に繰り入れます。深谷大里看護専門学校と学生輸送における共創事業として取り組み、一般利用者数の推移に影響されない、安定した収入が確保されます。

■ 便数（平日）

新規路線 : 14 便

前類似路線 : 22 便 63.6%

■ 有効停留所（一日平均3名以下の利用停留所を除外）

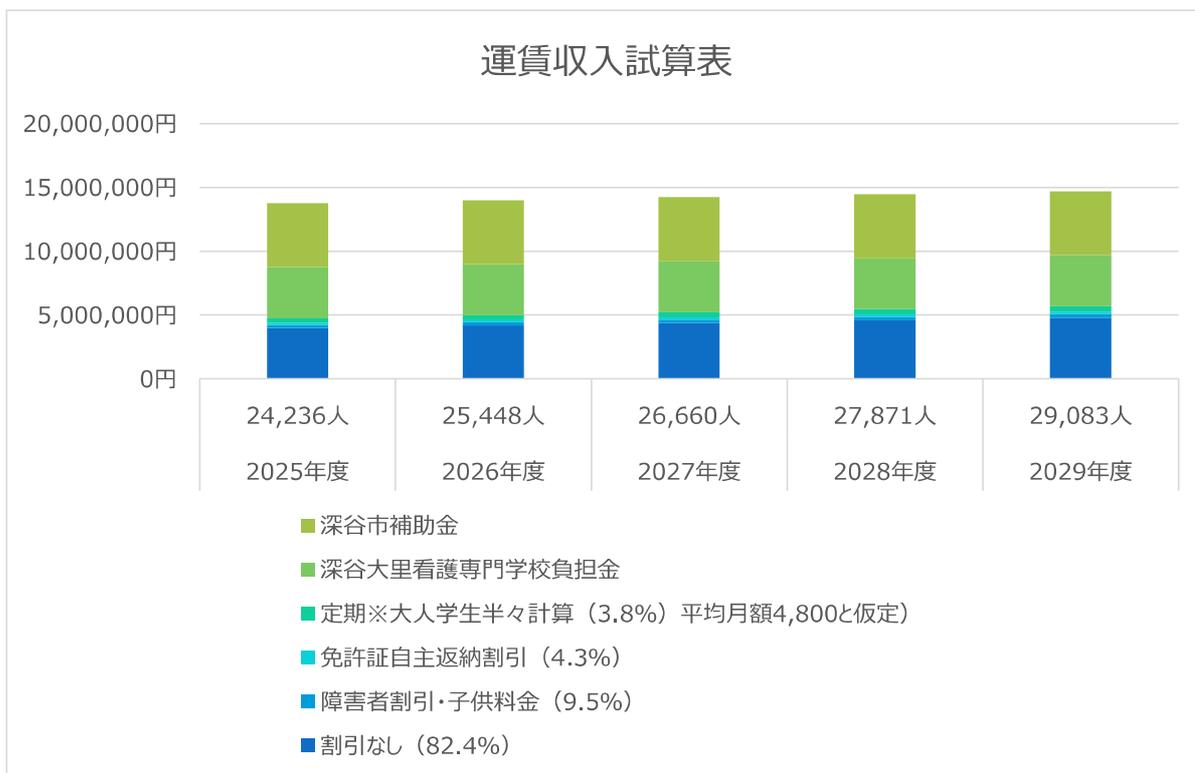
新規路線（予想） : 8

前類似路線 : 9 88.9% ※東循環便参考

 平均値 76.3% 一日平均約66.4人 年間約24,236人

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	24,236人	25,448人	26,660人	27,871人	29,083人
割引なし (82.4%)	3,994,093円	4,193,797円	4,393,502円	4,593,207円	4,792,911円
障害者割引・子供料金 (9.5%)	230,242円	241,754円	253,266円	264,778円	276,290円
免許証自主返納割引 (4.3%)	156,322円	164,138円	171,954円	179,771円	187,587円
定期※大人学生半々計算 (3.8%) 平均月額4,800と仮定	368,387円	386,807円	405,226円	423,645円	442,065円
合 計	4,749,044円	4,986,496円	5,223,949円	5,461,401円	5,698,853円

(4) 収入（運賃収入）の試算



※自社で運行している類似路線「籠原—深谷日赤線」と運賃同額であることから、支払い形態は自社路線を参考比率にし、類似バス停で過去運行していた行政バス「東循環便」平成 29.7.10-16 までの 1 週間を参考に初年度試算

現状の収支不足額として予想する金額月額 416,666 円は深谷市より補助として支出いただくお願いをしております、試算すると、令和 7 年度は 1 年間当たり約 1, 3 7 5 万円と試算しております。

運行開始初年度 令和 8 年以降は、毎年 5 %の上昇を目指し最短 5 年計画とします。

(5) 支出の試算

事業支出計画表	
作業費	8,185,864円
修繕費	612,420円
固定資産諸経費	2,933,796円
管理費	2,017,920円
支出（年）	13,750,000円

4-2 深谷北・籠原北線 運賃割引制度

運賃割引制度については、利用者の利便性を維持するため、各種割引制度を設けます。

区分	概要及び金額
定期券	一般：1か月 5,900円 3か月 17,000円 学生：1か月 3,700円 3か月 10,400円
障害者割引	<p>・対象 障害者手帳※（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保険福祉手帳）をお持ちの方で、運転者にその手帳に添付されている本人写真を呈示されたかた。 また、次のいずれかに該当するかたの介護のために乗車する介護人。</p> <p>①身体障害者手帳に第1種もしくは第2種であって「介」「要介護」の表示があるかたで、運転者にその該当する部分及び手帳に添付している本人写真を呈示されたかた ②療育手帳に「介」「要介護」の表示があるかたで、運転者にその該当する部分及び手帳に添付している本人写真を呈示されたかた ③精神障害者保健福祉手帳をお持ちのかたで、運転者にその該当する部分及び手帳に添付している本人写真を呈示されたかた</p> <p>※提示は障害者手帳の原本が必要。</p> <p>・割引金額 運賃の半額とする。</p>
運転免許証 自主返納※割引	<p>・対象 自動車運転免許証を自主返納したかたで、「運転経歴証明書※」を有しているかた1人が対象。</p> <p>・割引金額 運賃の50円割引とする。</p>
乳児割引	<p>・対象 1歳未満</p> <p>・料金 無料</p>
幼児（未就学児）割引	<p>・対象 1歳以上小学生未満</p> <p>・料金 無料 ※中学生以上の「大人」、または小学生の「こども」1名につき2名まで</p>
小学生割引	<p>・料金 運賃の半額とする。</p>
回数券	なし

※各種割引制度は、他の割引制度と併用することはできません。

【一般乗合旅客自動車運送事業】
深谷北・籠原北線運行計画
令和6年8月
深谷観光バス株式会社

